

授業づくりパッケージを活用した授業づくり(知的小学部)

構 想

構 想



知的小学部のO先生は、学年の先生や知的高等部音楽科のS先生に相談しながら音楽科の授業づくりに取り組みました。

これまで子どもたちが楽しく活動できることを中心に授業をしてきたけど…、他部門他学部の実践や、☆本(文部科学省著作教科書)の解説から、教科の本質や「音楽を形づくる要素」を意識した授業づくりが、子どもたちの深い学びにつながるってことがわかった!

身に付けたい資質・能力… 音楽を楽しみ、自分なりに表現したり味わったりすることで、日々の生活をより豊かにしていく力

小学部1~2段階の子どもたちが音楽遊びを通して、音楽の楽しさを実感できる授業にしたいな。単元で扱う「音楽を形づくる要素」は「リズム」とか「強弱」がいいかも。

- ・たくさんの要素が入りすぎだよ!
- ・1段階は音楽遊びの中で、楽器の「音色」に気付く、シンプルな授業を



ターニングポイント



私たちが考えている「楽しい」って、実はガチャガチャしてわかりにくいんだ。もっとシンプルに、「音色」に気付く授業を考えよう

検 討

指導案検討



楽器を触ったり鳴らしたりして、音色を感じられる授業展開にしよう

- ・楽器は鳴らしやすい和太鼓、鉄琴、マラカス、ギロの4種類
- ・「やまのおんがくか」の替え歌に合わせて、順番に楽器を鳴らす活動
- ・鳴らしたい楽器の写真の下に、顔写真カードを貼って楽器を選択

- ・楽器をいっぱい鳴らす場を設定して。どんな鳴らし方でもOKに!
- ・演奏動画を見る場を設けて、自分が鳴らした音色を客観的に振り返る時間があるといいよ



ターニングポイント



ただ鳴らすだけじゃダメなの!? 子どもが遊びながら楽器の音に着目する仕掛けを考えなくちゃ

模擬授業



- ・聞こえる「音色」だけに着目するように導入で楽器クイズをしては?

- ・4つのコーナーを設けて同時に自由に楽器を鳴らしたら?

- ・音楽遊びなんだから、子どもの行動を制止しないように



知的小 B先生



校長先生

ターニングポイント



子どもの行動を制止しないで、授業が成り立つの??

実 践

本時の授業



- ・バチや手を使って、好奇心のままに楽器に触れ、音色とのかかわりを楽しみ、のびのび表現
- ・友達の鳴らし方を真似したり、一緒に鳴らしたり
- ・初めは鉄琴、次は太鼓…最後はバチを床に落として、その音色を楽しむ姿



教師が「音楽を形づくる要素」に着目してかかわることが、教科における「深い学び」の実現につながる
小学部では発達段階を意識して、音色に気付くプロセスを考えるとよい



茨城大学 新井教授

~子どもたちの学びの深まりを、エピソードで評価~

当初はバチを逆さに持ち、振動を楽しむ「感覚遊び」に見えていた行動。「音色」に着目し、エピソードをためていく中で、鉄琴をマレットで擦る時はイヤーマフを外し、強く叩く時は装着するという音色の違いを聞き分けている姿が捉えられた。
次は極端に音色の違う楽器を提示したり、一つの楽器の音色を聴く時間を設けたりしてみる。

授業者の学び



教師が「音楽を形づくる要素」に着目した授業を考えることが、評価につながる。次の授業改善に活かされる!

評 価

授業整理会

